

社会教育委員会議 10月定例会会議録

平成26年10月21日

201 会議室

出席者 委員 8名

事務局 3名

文化課 2名

1 開 会

【議 長】内容が多いのでスムーズに進行していきたい。

2 報告事項

(1) 人事異動について (報告資料1)

【事務局】平成26年10月1日付の職員人事異動について資料にもとづき説明。

(2) 平成26年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロック研修会について (報告資料2)

【事務局】資料にもとづき説明。研修会の実施報告については次回の定例会で報告する。

【議 長】各事例発表がとてもよくい研修会になった。準備片付け等、委員・事務局の協力に感謝する。

(3) 平成26年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会会議録について (報告資料3)

【事務局】資料にもとづき説明。

(4) 平成26年度東京都区市町村社会教育委員名簿について (報告資料4)

【事務局】資料にもとづき説明。

(5) 平成26年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・第3回拡大役員会の開催について (報告資料5)

ア 日 時 平成26年10月16日(木) 14時から

イ 場 所 あきる野ルピア 3階 ルピア産業情報研修室

ウ 出席者 宇津木議長 随行木下

【事務局】資料にもとづき説明。詳しい内容については議事録が送付され次第報告する。

(6) 第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

ア 日 時 平成26年11月20日(木)
イ 場 所 鎌倉芸術館(神奈川県鎌倉市)
ウ 出席者 宇津木議長、森田副議長、新藤委員
 随行 事務局木下・大島

【事務局】口頭にて説明。詳しい行程については未定のため、今後は参加予定者へ個別にお知らせする。

(7) 第四次青梅市生涯学習推進計画の進ちょく状況について
【事務局】冊子を配布し口頭にて説明。

(8) 平成25年度青梅市の社会教育について
【事務局】冊子を配布し口頭にて説明。

(9) 社会教育委員会議9月定例会議事録について (報告資料6)
【事務局】資料にもとづき説明。修正等あれば次回の定例会の際に事務局に申し出てほしい。

3 協議事項

(1) 平成25年度青梅市芸術文化奨励賞表彰候補者の選定について
(協議資料1)

【文化課】資料にもとづき説明。

※各候補者について協議

【委員】私塾からの推薦を受けた候補者と他の学校の団体等の候補者とを同じ基準で選定するのはどうか。私塾と学校等の団体を別枠で選定する方がよいのではないか、そうでないと賞の権威がなくなってしまう。今後は基準等の見直しをした方がよいのではないか。

【議長】今までの基準で選定すると今回は受賞者が多く、賞の価値が落ちてしまうのではないか。基準の見直しをして次回は違う基準で決めることができたらいよいのではないか。

【文化課】交付基準については昭和60年に社会教育委員会議により決定している。交付基準の別表については、平成13年に一部修正した後は変更していない。修正をする時期であるというのも事務局としても感じており、委員の方のご意見をいただいたので変更を検討したい。

今後のスケジュールについては、来月11月6日の教育委員会に本日の協議結果を報告して、教育委員に御協議をいただき、その後市長の決定により最終的に受賞者として決まる。

今年は3年に一度の受賞者の発表会と展覧会がある。12月20日に市民会館において、今年の受賞者の表彰式と平成24～26年度の3年間の受賞者の作品の発表会と展覧会を行う予定である。委員の皆さんには後日案内状を送付す

る。

(2) 平成26年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・全体研修会について

ア 日 時 平成26年11月29日(土) 午後1時～

イ 場 所 秋川キララホールおよびあきる野ルピア

ウ 内 容 第1部 交流大会・第2部 研修会・懇親会

エ 出席者

【事務局】口頭にて説明、出欠の確認。

(3) 平成26年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰候補者の推薦について (協議資料2)

【事務局】資料にもとづき説明。今年度については該当なしで報告したい。

(4) 平成27年度予算編成について

ア 青梅市成人式について

(協議資料3)

【事務局】資料にもとづき説明。

【議 長】市内の学校の吹奏学部や掌理団体に来てもらって、生演奏でやるのはどうか。何年か前に市民会館でやったときに、舞台にあがって進行を妨げる振舞いがあったが、後輩たちが演奏で参加していれば、後輩の前でそういった振舞いをするのではないのではないか。

【委 員】時間的には現在の時間が適当である。

【事務局】掌理団体や学校の吹奏学部、太鼓の団体にお問い合わせしたら等の意見もあり、次の成人式から取り入れることもできるかもしれない。

【委 員】市政60周年記念式典のときには掌理団体の演奏があり、とてもよいと思ったが、成人式に関しては時間も限られており、予算も潤沢にあるわけではないため現在の内容でもいいのではないか。

【事務局】前回の成人式後の教育委員会ではシンプルでよかったという意見もあるが、若い人たちが実行委員会みたいな形でやってみるのもいいのではとの意見もあった。

【議 長】以前青梅市でも実行委員会形式で行ったこともあったが、年によって熱意のある人がいる時といない時があり、数回でやらなくなってしまったようである。今回は全体の流れとしては前回と同様でいいと思うが、アトラクション的な要素を入れるとしたら生演奏などを取り入れてもいいのではないか。

【委 員】司会者についてはどのように選考しているのか。

【事務局】過去に芸術文化奨励賞、青梅スポーツ大賞、主張大会などの受賞者から候補を選定して声をかけている。

【事務局】音楽の団体に関しては、リハーサルの参加や舞台の設営などの条件もあるが、声をかけてみる。

イ 平成27年度社会教育関係団体補助金について (協議資料4)

【事務局】資料にもとづき説明。来年度の補助金についても継続して例年どおりの金額を予算計上することについて委員の皆さんのご意見を伺いたい。

【委員】補助団体や金額については毎年、検討をしているのか。

【事務局】検討している。

【議長】来年度も同様に継続でいいのではないか。

【事務局】認められるかどうかはこれからのヒアリング等によるが予算計上については同様に計上する。

ウ 掌理団体の育成について (協議資料5)

【事務局】資料にもとづき説明。事務局としては継続して前年度並みの予算を計上したいと考えているが、ご意見を伺いたい。

【委員】3団体に配分する金額は決まっていないのか。

【事務局】実際には細かく分かれており、均等ではない。

【事務局】一番大きいのが児童合唱団の講師報酬金である。

【事務局】この3団体への補助については、毎年例年予算の議会の時に一般の合唱の団体サークルとどう違うのかとの意見が出る。市が補助することの意義について聞かれている。

【事務局】市の事業に協力してもらい、可能な限り出てもらっているのが、他のサークルと違うところである。

【議長】予算がある限り継続し、催し物の際に出演してもらうのがいいではないか。

【委員】近隣の羽村市、福生市、あきる野市では市民合唱団等はないのか。

【事務局】市がお金を出して育成しているところはない。あり方については、以前社会教育委員会議で諮問させていただいたこともある。平成23年度には事務事業評価で事業の継続について外部委員に評価してもらったところでは、このまま継続が1人、改善して継続が4人との結果であった。市が援助している以上は市の事業に協力するなどコンクールなどに出て実績を上げるなど活躍してほしいとの意見があった。

【委員】盛んな市だと、市民合唱や市民オペラや第9を歌う会などの催し物の活動が広がっていくがそのような感じではないのか。長く続いているのでちゃんとした認知があってもいいのではないか。

【委員】毎年、定期演奏会は無料でやっている。長年指導している指導者に対して表彰することができないか。

【事務局】表彰等を行うことがあったときに候補として考えたい。

3団体については、自主的な活動を促すという考えもあれば、市として情操教育でもあり芸術文化を育てるという意味で補助をして団体を育成するという考えもある。後者であれば、来年度も必要経費を計上したいと思っているが御協議願いたい。

【委員】歴史と文化の息づく街青梅ということもあり、青梅市の冠が付いて

いて歴史もある団体なので、大事にしてあげたい。児童合唱団については年齢制限があるため団員も動きがあると思うが、市民合唱団や吹奏楽団については、同じ人がずっと続けているイメージであるが、募集等はどのようにしているのか。

【事務局】団員の募集は定期演奏会や市役所でやっているミニコンサートのときに呼び掛けを行っており、広報などにも掲載し募集を行っている。

【委員】もし可能であれば、広報にも定期的に掲載するなど、みんなの吹奏楽団・合唱団というイメージが持てるようになればなおいい。

【事務局】皆さんに活動を知ってもらえるようにしていきたい。

エ 全国社会教育研究大会および関東甲信越静社会教育研究大会への参加について

【事務局】口頭にて説明。以前社会教育委員会議で協議し、関東大会と全国大会を隔年で参加することとなっている。来年度の全国大会については、大分県で開催予定で多額の費用がかかる。近隣他市はほとんど参加していない状況で予算計上が難しい。今後どうしていくのかも含めて協議願いたい。

【議長】去年は三重県で行い参加したが、他の市町村からはほとんど来ていなかった。内容的には講演を聞いたり、分科会に参加したりということなので多額の費用を捻出してもらって行くにはもったいない。近隣の県で行う場合のみ行くことでいいのではないか。

【事務局】全国と関東は隔年で、全国のときには実施場所で判断することでもいいか。

【議長】全国でも関東でも遠い所があるので、場所によつての判断でいい。

【事務局】毎年参加費のみを予算計上したい。

4 その他

【事務局】青島広志の講演会については次回の定例会の際に出欠を確認したい。

次回定例会 11月18日(火)